

吉川鐵工 株式会社

回転しながら加圧する 独自のカシメ加工設備を製造

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



最新鋭の電動サーボ式リベッティング・マシン

主な事業内容 リベッティング・マシンの設計・製造・販売	主な取引先(納入先) 自動車部品、自転車部品、建築金物、住宅建材の各メーカー	主な製品 リベッティング・マシンおよび周辺機器
---------------------------------------	--	-----------------------------------

業務内容
海外含め1万社以上に製品を納入

吉川鐵工は、自動でカシメ加工を行うリベッティング・マシンの製造会社。製品は自動車部品を中心に自転車や建築金物、キッチン用品など幅広い業界の製造現場で採用されている。これまで海外も含め1万社を超えるものづくり企業に対し、3万種以上の製品に対応したリベッティング・マシンの納入実績があり、国内では60〜70%のシェアを誇る。

昭和25年の創業当時、職人の手作業に頼っていたカシメ加工の機械化をめざし、スプリングを利用した打撃式のカシメ機を開発。昭和40年代に入り、スイスの機械メーカーと提携して現在の工法となるリベッティング・マシンの製造を始め、現在に至る。

強み
顧客の生産性向上や品質維持に貢献

カシメとは穴のあいた部品にリベット(鉄)を通し、リベットを変形させて接合・固定する加工方法。同社では角度のついた金属の工具(インサート)を回転させながら徐々に力を加え、リベット頭部のみを変形させるローリングカシメという独自の工法を確立している。加

工時間は1秒ほどと短く、作業者のスキルを問わず、安定して高い精度の加工が可能なことから顧客の生産性の向上や品質担保に寄与している。また、加圧は頭部のみで軸部が膨張するといった変化が少ないため、例えば、はさみの中心の接合部のように、可動が要求される部分にも多用されている。

顧客対応
リベットや加工条件に応じたインサート製作

リベットに加圧する動力源の違いで、製品には電動サーボ式と油圧式、空圧式の3タイプがあるだけでなく、タイプごとにも幅広いラインナップを揃える。また、リベットの仕上がり形状に合わせて7種類の基本形のインサートを用意している。さらに、成形寸法や材質などに合わせてオーダーメイドでのインサートや受け治具を製作することで多様なニーズに応えている。本社工場だけでなく、東京と名古屋の営業所にも各方式のデモ機や各種インサートを取り揃えており、顧客からの試作依頼も随時受け付けている。オーダーメイドの自動化装置や専用機の開発や製造も引き受けており、柔軟かつ高度な顧客対応は好評を得ている。

社長あいさつ



代表取締役社長 吉川 晃平さん

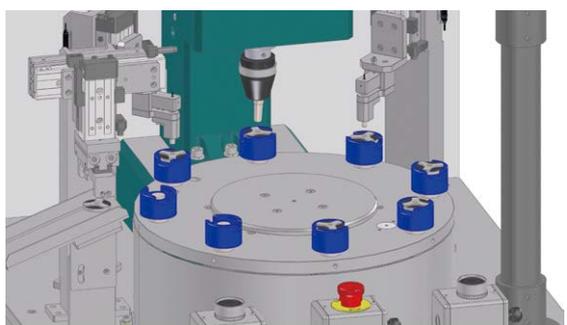
“より多くの製品に「つなぐ技術」を提供するプロフェッショナルとなる”をビジョンに掲げ、リベッティング・マシンだけでなく、工程と工程をつなぐ自動化装置の提案にも力を入れています。この取り組みを通じて、就労人口の減少による人手不足など社会課題の解決にも貢献したいと考えています。

主な保有設備

- 複合旋盤 NLX2500Yほか DMG森精機製ほか 6台
- 立型マシニングセンタ NVX 5000 α1ほか DMG森精機製ほか 6台
- 横型マシニングセンタ HPX63ほか 三井精機工業製 2台
- 平面研磨機 SGC-630βほか ナガセインテグレックス製 3台



住所 / 〒575-0041 四條畷市都屋新町 3-7
 TEL / 072-876-5151
 FAX / 072-878-3329
 創業 / 昭和25年3月
 設立 / 昭和35年3月
 資本金 / 4,500万円
 従業員 / 53名



部材の供給～組立・検査～排出までの自動化装置も提案可能



油圧式リベッティング・マシン



<https://riveting-mcn.co.jp/>